

## 「柏崎の橋」

### 3 かなぐる わ 新かなぐる わ 金曲輪橋・新金曲輪橋

曲輪くるわとは城の石垣・塀などの囲み、またはそれで囲まれた一つの区画をさすが、現在の柏崎総合高校の土地には、かつて宇佐美氏の居城、琵琶島城があった。「白川風土記」で「金曲輪ト云名モ昔郭内ニ在シ故ナルヘシ」と記されたように、琵琶島城の曲輪に架けられたことが名の由来とされる。

また「是橋ハ昔此村ノ城通路ノ為ニ架シタル故ニ今ニ其時ノ例ヲ追テ郡中ヨリ普請ス」とも記されており、これについて「柏崎編年史」では次のように述べている。

「江戸時代の郡中普請というのは、主要街道の道橋や陣屋の造営などに限られていて、江戸にはいると現在の上条街道が成立するのでこの橋は重要ではなくなる。しかるに郡中普請の習慣の生きているというところに金曲輪橋の由緒の深さがわかる」

#### ●参考にした本

- 「柏崎文庫」第15巻 関甲子次郎 著 (080 頁)
- 「白川風土記」柏崎郷土資料刊行会 発行 (224 頁)
- 「ふるさと剣野」剣野公民館ふるさと学級 編 (224 頁)
- 「ふるさと剣野」剣野コミュニティ振興協議会 編 (224 頁)
- 「柏崎編年史」新沢佳大 編著 (224 頁)



現在の金曲輪橋 左方面は新金曲輪橋に通じる

「柏崎文庫」では「鴨曲輪ともいふ」「橋巾九尺（約2.7m）長サ四間（約7.2m）」とある。かつて大きく蛇行していた鶴川は河川改修によって現在の流れとなり、この一帯の河川改修にともない昭和34年に新しく新金曲輪橋が架けられた。平成11年には道路拡幅工事にともない、現在の位置の新金曲輪橋に架け替えられた。

河川改修前の鶴川の流れは、現在も宮場町地内に横山川として残っている。



現在の新金曲輪橋と古い新金曲輪橋が並ぶ様子  
手前の古い新金曲輪橋は、平成12年に取り壊された  
(ふるさと剣野)